



横浜市立瀬谷さくら小学校

学校運営協議会だより

平成26年3月24日

平成25年度・第3号

共に学び、共に創る地域の学校『瀬谷さくら小学校』
～みんなの力で守り育てよう、瀬谷さくら小学校、さくらの子～

平成25年度の終了にあたって

瀬谷さくら小学校学校運営協議会 会長 網代宗四郎

明るい陽射しが春の訪れを告げているように感じられる今日このごろでございますが、皆様には益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

あいにくの小雨模様で、少し肌寒いお天気ではありましたが、第4回卒業証書授与式が多数の来賓・保護者のご出席のもと、盛大に挙行されました事を心よりお慶び申し上げます。

卒業されました皆様、ご卒業誠におめでとうございます。

保護者・地域の皆様や八嶋校長先生初め教職員の皆様のお慶びもいかばかりかと拝察致します。

卒業生の皆様は、6年間の小学校生活を立派に終丁されますと共に、瀬谷さくら小学校の伝統を築いてくださいました。

振り返ってみると、皆様が小学校1年生の時に小規模校再編統合の検討委員会が開始され、いろいろと心配をされたのではないかと思います。検討委員会に於いて、皆様のご意見を伺い、学校

名を瀬谷さくら小学校と内定させていただきました。

1年間の準備期間後の、平成22年4月1日に開校致しました。

したがいまして、卒業生の皆様は4年間新しい学校で学び、そして、誇れる立派な学校を築いてくださいました。今後は、思いやりと感謝の気持ちを大切にされ、大きな希望と勇気を持って中学校生活を送っていただきたいと思っております。

さて、平成25年度学校運営協議会活動も充分とは申せませんが、無事に終了する事ができました。これも偏に皆様のご指導・ご協力と、ご熱心に活動していただきましたお陰によるものと厚く御礼申し上げます。

新年度も、どうぞ宜しくお願ひ申しあげます。



羽ばたけ さくらの子

第4回卒業証書授与式



3月20日、第4回卒業証書授与式が行われ、70名の卒業生一人一人に、八嶋校長先生から卒業証書が手渡されました。“あしたへと続く道 未来へと広がる空 歴史を受け継ぎ 夢が膨らむ”。校長先生は、式辞の中で、『大きな夢（目標）をもって、それに向かって努力を続けること』の大切さを語られ、また、相田みつおの「道」という詩を紹介して、『さあ、卒業生の皆さん、夢をもって、自信をもって、胸を張って、中学校で活躍してください！』と激励されました。（西村）

開校5年目の春がくる

校長 八嶋真理子

開校2年目の冬、網代会長と馬場副会長と共に京都市立高倉小学校を訪ねました。5つの小学校が統合して9年目、地域と学校の活発な連携で文部科学省のリーフレット等にも紹介される学校でした。学校とは思えない近代的な校舎には、開閉ドーム式の室内プールがあつたり、料亭の宴会場のような80畳の和室があつたりと、横浜では考えられない小学校の姿がそこにありました。

明治以来、京都の町は教育を大切にしてきた伝統があります。町ごとに大切にしてきた小学校を一つに統合するに当たっては様々なご苦労があつたようです。各町内会をまとめ、学校支援体制を作り上げるには学校運営協議会の働きが必須だと聞きました。2年間の文部科学省の助成を受けて始まった活動は、助成が終了した3年目に壁にぶつかったそうです。活動を支える資金や組織などの問題を、地域の皆さんのがんばりを出し合って乗り越えたのだそうです。学校支援員には、池坊総本家の御家元まで名を連ねる地域でさえ、「3年目の壁」があったという話を聞き、これからのことを考えながら雪の京都を後にしたのを覚えています。



瀬谷さくら小学校は、今年4月、開校5年目の春を迎えます。覚悟をしていた「3年目の壁」も、保護者、地域の皆様のご協力のもと、気が付ければいつの間にか乗り越えていました。これまでの4年間の取り組みで、横浜市内では、地域協働参画型の学校として、様々に紹介されたり賞をいただいたりする学校に育ちました。

これは、私たち瀬谷さくら小学校の教職員にとりましても大きな誇りです。これからも子どもたちのために心を一つにして教育活動に取り組んでまいりますので、ご支援とご協力をよろしくお願ひいたします。

今年も「ありがとう」いっぱいの1年間

副校長 松田恵子

本校の学校運営協議会は、さくらの子応援隊部会、学援隊部会、地域連携部会、はまっ子部会、広報・学校評価部会、児童を災害から守る検討部会から構成されています。その中でもさくらの子応援隊部会の皆様には、盆踊り指導（1、2年生）、クラブ活動支援、加えて今年度は、かけ算九九の特訓（2年生）、算数学習サポート（3,



4年生）。さらには、音楽の学習におけるウクレレ演奏、合唱披露など、授業時間だけでなく、放課後の算数補充と、実に多様な活動にご尽力いただきました。学援隊による登下校の見守りや先日の大雪の雪かきなどもそうです。地域の教育力を生かしながら、今年度もそれぞれの立場で大いに活躍していただきました。

こうしたねばり強いお取り組みによって、算数が苦手な子どもたちも次第に分かるようになり、意欲的に学習に取り組むようになりました。本当にありがとうございました。感謝感謝です。

今後ともどうぞ瀬谷さくら小の子どもたちの健やかな成長を見守りください。よろしくお願ひいたします。

子どもたちのあいさつが元気の源

学援隊隊長 馬場勝己

登校時、子どもたちの見守りで交差点に立っていると、「おはようございます」と、大きな声が響きます。私も「おはようございます。行ってらっしゃい」と返すと、「行ってきます」と子どもたちの元気な返事が返ってきます。とても気分の良い響きです。今日も一日、元気に過ごせる気がします。

2月24日、「学援隊、教育支援員への感謝の会」を全校生徒が開いてくれました。下瀬谷地区、ひなた山地区の学援隊、教育支援員が招待され、50名余りが参加しました。感謝のことばに続き、感謝状までいただき、更には歌のプレゼントまでもあり、涙が出るばかりの大感激を覚えたのは、私一人ではなかったと思います。

子どもは地域の宝、日本の宝です。子どもたち

の健やかな成長を願って、明日も見守りに立ちます。何だって、子どもたちのあいさつが元気の源ですから。



見て、聞いて、触れて、身を以て体験を

PTA会長 太田和男

まだひとつ年月が巡り、季節が移ろいでゆく中、皆さまには常日頃より、子どもたちの健やかな成長をお見守りいただき、さまざまな活動にご協力をいただいておりまこと、PTAを代表いたしまして、心より御礼申し上げます。



平成25年度は、子どもたちの心に呼びかける活動を中心とし、子どもたち自身に、今の自分と、これから自分の自分を考えてもらう機会を設けることができました。著名な方をお招きし、直接お話を聞かせていただくことで、普段、自分たちとは縁遠く感じる世界のことを、より身近なこととして考えてもらえたと思います。

見て、聞いて、触れて、身を以て体験することは、なによりの財産となります。私は子どもたちに、テレビで見たり聞いたりするだけでなく、肌で感じる経験をしてほしいと、常々思っていました。今年度、それを実現できることは、子どもたちにとって、また、これからのPTAの活動にとっても、貴重な財産となったはずです。

子どもたちが視野を広げ、夢と希望を持って自らの将来を思い描く。そのお手伝いをすることこそ、私たちPTAの役割であると信じております。今年度の経験を活かし、来年度も、子どもたちの明るい笑顔のため、そして、輝く未来のために、できる限りの活動を行なってまいる所存でございます。

とは申せ、私たちの活動の根底を支え、子どもたちの学校生活の安心安全が保たれておりますのは、地域の皆様、教職員の皆様の、ご尽力の賜物にほかなりません。来年度も、子どもたちのための学校運営協議会でありたいと思っておりますので、変わらぬご協力を賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

平成25年度 学校評価報告書

共通取組 重点取組	具体的取組	自己評価結果	総括
1 確かな 学力	<p>基礎・基本の確実な習得を目指し「分かる楽しい授業」作りを行い、自分の言葉で考え表現する子どもを育てます。</p> <p>基礎学力の向上をめざし漢字・計算検定や算数補充学習に進んで取り組む姿勢を育てます。</p>	市学力学習状況調査の分析を行い本校の課題を明確にした。また、課題解決のための取組を全教職員で行い、学力向上を目指した。地域の教育力を生かした取組をさらに改善していく。	(A) B C D
2 豊かな心	<p>年間教育目標の重点化を図り、規範意識やあいさつを大切にする指導を充実させます。</p> <p>ふわふわ言葉等の推奨を通して、自他を大切にする心情や態度を育てます。</p>	スタンダードをもとに生活指導ができているか、児童・教職員が定期的に振り返りを行った。今後、保護者への啓発を合わせて行っていく。	A (B) C D
3 健やかな 体	食教育・いのちの教育の充実を図ります。「いきいきキッズ体力向上計画」の実践や朝の特別陸上クラブ等を通して、自分の健康に関心をもって体力向上に取り組む子どもを育てます。	いのちの学習の授業公開を通して、家庭との連携を進めた。学校保健委員会、特別陸上クラブ・合唱クラブ等の取組を通して心身の健康と情操教育の充実を図っていく。	(A) B C D
4 児童・ 生徒指導	あいさつ運動が定着し、元気で気持ちの良いあいさつができる子どもを育てます。縦割り活動が充実し、異学年交流による思いやりの心を育てます。不登校や問題行動の芽を見逃さないよう教職員の共通理解を図り、子どもの様子を丁寧に見ます。定期的にアンケートを実施し、子ども・保護者・地域の声を教育活動に反映します。	職員会議等で、支援が必要な児童について全職員で情報を共有し、敏速に対応した。いじめについて、丁寧な実態把握に基づく早期発見・早期対応に努めた。今後、いじめ防止基本方針をもとに取り組んでいく。	(A) B C D
5 研究・ 研修	授業研究や実技研修等、研修の方法を工夫しながら、授業力の向上に進んで取り組みます。指導主事や大学教授など外部講師を招き、新しい教育の情報を授業に取り入れます。横浜国大と連携し、学生への授業公開を通して授業の質の向上を図ります。メンターチームを中心に主体的な授業研究に取り組みます。	授業研究会や実践提案、国大との連携等で、授業力向上を目指した研究・研修を行った。授業研究を通して、さらに教師力の向上を図り、児童の学力向上に努めていく。	(A) B C D
6 地域連携	学校運営協議会を中心に地域との連携が進み、地域協働参画型の学校作りを進めます。さくらの子応援隊や学援隊など多くの地域人材の積極的な学校支援によって、子どもの学習や安全環境を充実させます。さくらの子基金の活用により、地域コーディネーターを中心とした学校支援活動が充実して行われるようにします。	地域協働参画型の学校作りができる。さくらの子基金が発足され学校支援活動が充実した。学校運営協議会を中心とした地域との連携をさらに進めていく。	(A) B C D

人材育成 組織運営	<p>校内研修を計画的に実施すると共に、重点研究では授業研究と併せて実技研修を行い実践的な授業力向上を図ることで、教師の力量を向上させます。若手教職員育成のためのメンターチーム「チームさくら」では、主体的な授業研究の他に全職員向けの不祥事防止研修を企画運営することで、全教職員のコンプライアンスの向上を図ります。横浜国立大学と連携し、学生への授業公開とレクチャーを通して授業の質を高めます。各組織が情報の共有化を積極的に図り、組織的に円滑な取り組みを行います。学校創造委員会の横断的な組織の機能が有効に活用され、適時、課題解決と新たなプランニングが迅速に行われるようになります。</p>	<p>若手育成のための「チームさくら」の取組、授業研究会、実践提案を組織的に行い、授業力の研鑽に努めた。不祥事防止研修を通じ、コンプライアンスの向上を図った。必要に応じて、管理職が職員の勤務・指導状況を的確に助言・支援を行った。学力向上やいじめ防止等の課題に敏感に対応するため、学校創造委員会やいじめ防止対策委員会をさらに活用していく。</p>	<p>(A) B C D</p>
--------------	---	--	------------------------------

小中一貫 教育推進 プロック内 相互評価 結果	<ul style="list-style-type: none"> ○学力向上をめざし、市学力学習状況調査の分析活用に組織的に取り組んでいた。 ○授業力向上をめざした、研修研究に取り組むだけでなく、スキルタイム・計算漢字検定・地域の力を生かした補習など、児童のスキルアップの機会を多く設定していた。 ○中学校と学習課題の共有をすることができたため、小中学校が連携して学力向上に向けて取り組む下地ができた。 ○学校運営協議会を通した地域との連携が様々な場面で生かされていた。
学校関係者 評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ○規範意識・学習指導では、アンケート(児童)からも学校の努力が伺える。児童への熱心な指導の成果が表れてきている。 アンケートで、学校で気持ちよく過ごせていない子が15%いるのが気になる。この割合を減少させることを期待する。 ○地域の教育力の活用が十分に図られ、教職員の努力と相俟って学力向上に繋がっている。今後も継続していただきたい。 ○児童・保護者・地域・学校の協働の成果が様々な場面に表れていた。
評価結果に 対する 学校の見解	<ul style="list-style-type: none"> ○支援が必要な児童について、全職員で情報を共有し敏感に対応していきます。 ○いじめについて、丁寧な実態把握に基づく早期発見・早期対応といじめの未然防止に努めます。 ○保護者・地域・学校で地域協働参画型の学校づくりを進め、教育環境の充実を図ります。

学校経営 中期目標 達成状況	<p>学校教育目標を達成するために、学校運営協議会を中心に、児童・保護者・地域・教職員が協働して子どもの将来に責任をもつ、地域協働参画型の学校作りを進めることができた。今後、児童の基礎・基本の確実な習得をめざし、教職員の授業力向上の取組と地域の教育力を生かした教育支援の充実をさらに図りながら、学力向上に取り組んでいく必要がある。</p>
----------------------	---

伸びる芽を大切に

諸橋茂夫

「あはようございます！」元気な声に迎えられ「かけ算九九特訓」は始まりました。

・・・午前8時45分、ボランティアの14人は二つの組に別れ、それぞれの教室に。1班4、5人の好奇心に満ちた瞳が、教卓前の私たち7人を見つめていました。

私は教室左奥の班に行き、早速、四の段の復習から開始。プリントを見ながら皆大きな声ではっきりと九九を言うことができました。「よく覚えているね～家でも練習しているね！ 目を閉じてでは？ それでは逆も言えるかな？」。・・・その後、五、六の段を練習し、七の段まで。七の段は言いにくいらしく、やや苦労しましたが、全員が好きな柄のシールをプリントに貼ることができました。15分間という短い時間ではありましたが、子供たちは熱心に学習し、気がつくと他の班はすでに皆終了していました。

まだ小学校2年生。覚える速さに個人差はあります、諦めずに毎日繰り返し、スポーツと同様に達成感と自信を身につけることが大切です。今回の特訓に参加して、友達や家族と楽しく遊べるトランプカードなどを使った「九九のゲーム」を子供達と一緒に考えてみたいと思いました。



コーディネーター講習を受講して

西村快晴

横浜市教育委員会主催の学校・地域コーディネーターの講習会（年8回）を、今井さんと2名で受講し、昨年度受講した野口さん、與倉さん、飯島さんと合わせて、瀬谷さくら小学校の学校地域コーディネーターは5名になりました。

学校・地域コーディネーターとは、「学校が求める教育支援活動のねらいと、地域の特性や地元のひとたちの得意なことを結びつける役割」を担います。講習では、コーディネーターの役割、活動のポイント、活動プランの立て方、会議の進め方など、特別講師や先輩コーディネーターからの講義のほか、ワークショップや先進校の見学会、活動発表会などを通じて、学校地域コーディネーターとしての基本を学びました。写真は東山田中のコミュニティス

ペースです。右側には会議室もあります。

講習会には、横浜市全域から約120名が参加し、情報交換も行いましたが、瀬谷さくら小学校の算数授業サポートのような具体的な教育支援活動を行っている学校は、横浜市でも数校しかありませんでした。瀬谷さくら小学校は、学校運営協議会、青パト、アルミ缶回収、学校ファンドなど、校長先生がいつもおっしゃるように、横浜市でも最も活発に活動している学校の一つであることは間違いないようです。

瀬谷さくら小学校にないものとして気づいたことは、土曜学級やおやじの会、コミュニティカレンダー作りなどがあります。また、コミスクと合体したような活動をしているところもあります。土曜学級は、学校が休みの土曜日に算数や英語教室を開いて、子どもたちの学習支援をしています。おやじの会は、保護者のお父さんたちの会で、お祭りやスポーツ、校外活動などの支援のほか、子どもたちが卒業した後も、趣味や飲み会などで交流を続けており、学援隊や教育支援ボランティアの高齢化対策の一つになるのではないかと思いました。

講習会で学んだことを生かして、これからも学校と地域の架け橋として活動してまいりたいと思います。



思いを胸に届ける笑顔、拍手でつなごうさくらの輪

第4回学習発表会

11月30日（土）瀬谷さくら小学校体育館にて全校児童の学習発表会が開催されました。今年のスローガンは「思いを胸に届ける笑顔、拍手でつなごうさくらの輪」。これは、さくらプロジェクトの児童たちが考えたものです。今まで学習してきたことを他学年の友だち、たくさんの地域の皆さん、保護者の方々に発表することができました。



1年生は「みんな なかよし 1ねんせい」で、入学してからの思い出を歌と一緒に発表しました。

2年生は「わっしょいわっしょい お祭りわっしょい」で、歌や太鼓のリズムに合わせて踊ったり、北原白秋の「おまつり」の詩を全員で朗読したりしました。



3年生は「竹」について総合学習で学んだことを、6つのグループに分かれて劇やダンスを交えて発表しました。

4年生は「命の水～水を大切に～」で、総合学習で学んだ「水」をテーマに、節水や水の大切さについて発表しました。

5年生は「かがやけ・いのち」で、総合学習で学んだ「命」をテーマに、自分達のまわりの自然環境、栄養と運動、友だちについて発表しました。

6年生は「ジャパニーズヒストリー～日本の歴史～」で、衣装や小道具を手作りし、歴史を題材にした劇を演じました。

どの学年も一生懸命に学び、準備をし、練習の成果を出しきった素晴らしい発表でした。（永）

下瀬谷鍋を食べよう会 PTA

2月8日（土）関東では20年ぶりといわれた大雪の中、恒例の下瀬谷鍋を食べよう会が開催されました。

あいにくの天候なので、調理も食事もすべて家庭科室にて行いました。例年では、鍋を煮ている間に、相沢川を守る会の菊池さんのお話を聞きながら、相沢川河畔の散策をするのですが、今年はコミスクの温かい部屋の中で相沢川の歴史をお話していただき、コミスクスタッフの方が本の読み聞かせをして下さいました。

大雪の中でもおおぜいの子ども達やお母さま達が参加をし、家庭科室のコンロで調理した下瀬谷鍋は例年のような大鍋ではありませんでしたが、

とても美味しい「雪見鍋」が出来上がりました。（永）



瀬谷区長に受賞報告

学援隊

横浜市教育委員会から交通安全功労賞を受賞した学援隊が、12月3日、瀬谷区役所を訪ね、藁師寺瀬谷区長に受賞報告を行いました。

参加したのは、網代会長、八嶋校長ほか8名で、学援隊の苦労話や算数補充学習、算数授業支援、掛け算の九九、クラブ活動支援などのさくらの子応援隊の活動についても報告を行いました。区長からは、算数などの教育支援活動について、瀬谷区ではあまり聞いたことがない、大変いい事なのでほかの学校にも広げたらいい



ですね、これからもがんばってください、とのお言葉を頂きました。（西村）

学援隊・教育支援員 懇親会開催



3月12日、県立ひなた山特別支援学校ふれあいルームで、瀬谷さくら小学校学援隊および

教育支援員の慰労会を兼ねた懇親会が開催され、90名のボランティアの皆さんが出ました。

区役所からも宮谷総務課長と金子学校支援・連携担当課長、学校からは八嶋校長ほか9名の先生方が出席され、ねぎらいの言葉を頂きました。

予想を上回る大勢の参加者を得て、いすやスリッパが足りなくなるハッピーニングもありましたが、終始、和やかな雰囲気で、互いの親睦を図ることができ、有意義な会であったと思います。（西村）

平成25年度の学校運営協議会のあゆみ

第1回学校運営協議会 5月16日

- ① 委員の紹介
- ② 本年度の部会構成と活動内容等の計画
- ③ 中期学校運営方針の提案
- ④ 本年度「学校運営協議会」の日程について

第2回学校運営協議会 7月4日

- ① 前期学校評価について
- ② 全体研修会（さくらの会）のもち方について
- ③ 各部会の活動報告

第3回学校運営協議会 11月8日

- ① 前期学校評価結果
- ② 各部会からの活動報告
- ③ 児童虐待防止について

第4回学校運営協議会 1月16日

- ① 各部会からの活動報告

- ② いじめ防止基本方針について
- ③ 次年度取組への見通しについて

第5回学校運営協議会 2月28日

- ① はまっ子からキッズへの転換について
- ② 後期学校評価について
- ③ 提言書について
- ④ 報告書について
- ⑤ 各部会からの活動報告
- ⑥ 来年度の学校行事予定

第1回さくらの子基金運営委員会 5月16日

- ① 委員紹介
- ② 予算案について
- ③ 規約について

第2回さくらの子基金運営委員会 2月28日

- ① 平成25年度さくらの子基金運用報告
- ② 平成26年度さくらの子基金運用見通し

【編集後記】先日、NHKテレビの大相撲春場所中継を見ていたら、解説者の高崎親方（前出羽の海親方、元鶯羽山）が、アナウンサーの問い合わせに答えて、「教育とは教える育てる」と書きますが、教えることはそれほど難しくないが、育てるのは大変難しい」と語っていました。瀬谷さくら小学校の教育支援員の方たちも、特に算数関係では、短時間の支援にジレンマをお持ちの方も少なくないようです。

本誌では、今まで、学校運営協議会の委員の方たちに、子どもたちへの熱い思いを語っていただきましたが、来年度は、是非、教育支援員の方々にも、お話を伺いたいと思っています。（西村）

学校運営協議会だより
平成25年度・第3号

平成26年3月24日
横浜市立瀬谷さくら小学校
学校運営協議会
発行責任者
会長 網代宗四郎
編集
広報・学校評価部会